

# スタートアップ創生を目指して

## 企業の取り組み事例

「新たなチャレンジを」(岩手県紫波町) 日誌として「」。2023年に設立された平六醸造(紫波町)の平井佑樹代表取締役は、この町からの挑戦に意欲を燃やす。チャレンジの場は地元の日詰商店街に位置する「日詰平井」を囲む。重要文化財でもある。平井さんの高祖父が完成させたという「平井」は「平井」になるという。平井宰相とも呼ばれた原敬首相をもてなしたりした。

### 平六醸造 (紫波町)



新たな酒造りの準備が進む平六醸造

旧平井邸の母屋裏には、かつて酒が仕込まれた蔵があり、ここで新たな酒造りが始まりつつある。平六醸造が手がけるのは「クラフトサケ」と呼ばれる新ジャンルのお酒。24年の出荷を見込んで、同社のクラフトサケは、二つのラインアップを計画。

### 新ジャンル「クラフトサケ」で挑戦

一つが「Re・vive(リヴァイブ)」。紫波の特産、もち米の発芽玄米を加えた酒になる。これを基本に、もう一つとして紫波産の果物をもろみに加える「I・aver(レイヤー)」を用意する。当酒は小ロットで、一人でも対応できる醸造所として稼働していく方針だ。日誌というコミュニケーションの中で「二歩、一歩。末永く事業を継続していきたい」としている。

起業からそれぞれの挑戦が岩手県で続く。県内3社の取り組みを追った。

「精微機器製造のアイカムス・ラボ(盛岡市)は2003年の設立。現在の事業領域は、カメラのオートフォーカス用途向けなどの「アクチュエータ事業」「ライフサイエンス事業」「医療機器事業」「自社製品事業」の四つ。中でも医療機器分野が伸びており「さまざまなニーズがある。これから一段と核になっていく」(片野圭一社長)という。同社はこうした分野の機器製造で地元スタートアップのけん引役を担う。

### アイカムス・ラボ (盛岡市)



アイカムス・ラボの片野圭一社長

信機能も付加し、作業時間の短縮につなげるなどの進化で「コロナ禍での需要が増えた」(同)。医療関連現場における機器の自動化や省人化のニーズは一段と高まっている。片野社長の目指すモノづくりの方向性は、自社製品のひとつとなる「ペリペリ」は、13年の発売から10年目。無線通信の形が、地域の工芸技術

### 医療機器製造、地域のけん引役

と医学連携による医療機器の共同開発などを手がける任意団体「東北ライフサイエンス・インストラメンツ・クラスタ(TOLIC)」だ。同団体は14年に設立された。現在35社、43団体が参加する。間もなく発足から10年。TOLICは、次期ステージをにらむ段階に入った。TOLIC中核企業でもあるアイカムス・ラボも10月から経営体制の強化に入るという。

### モンゴル未来 (盛岡市)

#### 羊肉で新たな産業へ飛躍

「羊肉を用いて、この地(岩手県滝沢市)から新たな産業を根付かせたい」。モンゴル未来(盛岡市)のラオグジャ・ムンフバット代表取締役は、将来の目標をこう描く。2018年に8頭から始まった羊の飼育。現在は、滝沢市内の牧場で約150頭にまで増えた。現状では月に数頭分の羊肉を出荷。首都圏のイタリアンや中華レストランなどの需要に応えている。初は「モンゴル文化を知ってみたい」という視点から、移動式住居「ゲル」に宿泊できる「村を滝沢市内で運営したりしていたが、現在の事業は羊に特化した。ムンフバットさんは「100年続く事業に育てていきたい」というムンフバットさん



「100年続く事業に育てていきたい」というムンフバットさん

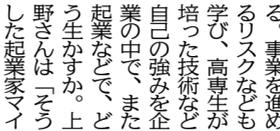


8月に盛岡市内で開いた「いわてスタートアップ推進プラットフォーム」のキックオフミーティング(岩手県提供)

## 岩手県、推進プラットフォーム立ち上げ

「いわてスタートアップ推進プラットフォーム」のキックオフミーティング(岩手県提供)

「起業家マインドの醸成が欠かせない」。一関工業高等専門学校専攻科1年生の上野祐太郎さんは、このプログラムの受講者として参加する。今夏には、参加者が地域企業を訪問し、企業が抱えていた課題を高専生の視点で抽出。新規事業の提案につなげていく試みを展開している。上野さんは「起業家手段であり、目的ではない」と強調する。事業を進めるリスクなども学び、高専生が培った技術など、自己の強みを企業の中で、また起業などで、どう生かすか。上野さんは「こうした起業家マインドの醸成が本人にとっても役立つはず。こうした取り組みをモデルケースに地域から広げていきたい」という。



Next I W A T E 代表 上野 祐太郎さん

「起業家マインドの醸成が欠かせない」。一関工業高等専門学校専攻科1年生の上野祐太郎さんは、このプログラムの受講者として参加する。今夏には、参加者が地域企業を訪問し、企業が抱えていた課題を高専生の視点で抽出。新規事業の提案につなげていく試みを展開している。上野さんは「起業家手段であり、目的ではない」と強調する。事業を進めるリスクなども学び、高専生が培った技術など、自己の強みを企業の中で、また起業などで、どう生かすか。上野さんは「こうした起業家マインドの醸成が本人にとっても役立つはず。こうした取り組みをモデルケースに地域から広げていきたい」という。

## 事業展開への明確な「出口戦略」呼びかけ

Next I W A T E は、学生でも活躍できる地域システムの創出を進めている。行政、商工会議所、金融機関などと組んで、地域の課題解決にも取り組む。上野さんは「23年6月に、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のNEP開拓コースに採択され、一関高専の技術を用いた陸上養殖を実現するための新会社設立を24年3月にも計画する。今後、自らの出口戦略も一段と練り上げていきたい」としている。

## 岩手県産業特集

つなぐ。支える。事業を、地域を。

東北地区3産業人クラブ 新会員募集中!!

産業人クラブは経営者の意思決定に欠くことのできない情報とチャンスをもたらします!

経営・技術情報収集の場に!!

宮城産業人クラブ  
山形産業人クラブ  
福島産業人クラブ

https://www.sangyojin.com

林業機械の総合メーカー

IWAFUJI INDUSTRIAL CO., LTD.

イワフジ工業株式会社

http://www.iwafuji.co.jp/

(本社・工場) 〒023-0872 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1  
TEL:0197-23-3111 FAX:0197-23-3177  
(支店) 札幌・東北・仙台・関東・中部・関西・中国・九州

KKDは電機 の力で釜石から元気を発信します。高い技術力と豊富な経験を生かし、お客様の課題解決に貢献します。

光触媒空気抗菌装置 カザノイア | 回転機器メンテナンス | 電気工事 | 溶射技術

「カザノイア」は、光触媒の化学作用で浮遊細菌やウイルスなどを不活性化し、臭気ガスの濃度低下や浮遊粉塵の除去も併せて行う空気抗菌装置です。酒蔵の麹室や、食品工場、畜舎などの製造・生産現場の空気環境を整えます。

株式会社 釜石電機製作所

事務所 〒026-0053 岩手県釜石市定内町3-3-15 TEL:0193-21-1751 FAX:0193-21-1752  
本社・第一工場 〒026-0055 岩手県釜石市甲子町第9地割171-4 TEL:0193-23-8151 FAX:0193-23-8159  
北上事業所 〒024-0011 岩手県北上市堤ヶ丘1-8-20 TEL:0197-64-0192 FAX:0197-64-0194

https://www.e-kamaden.co.jp

日本政策金融公庫 盛岡支店

日本公庫は、スタートアップを支援しています。

国民生活事業 0570-004730  
農林水産事業 019-653-5121  
中小企業事業 019-623-6125

岩手県経済の発展に貢献する 有力企業